

第1学年〇組 国語科学習指導案

指導者

1. 単元名 こえにだしてよもう「くじらぐも」(全11時間)

2. 指導観

(1) 児童観

本学級の子どもたちは、これまでに「はなのみち」、「おむすびころりん」、「おおきなかぶ」、「ゆうだち」の読み取りの学習をしてきている。「おおきなかぶ」や「ゆうだち」では、叙述や挿絵から読み取ったことをもとに役割演技をし、物語の楽しさを味わって学習することができた。特に、繰り返し表現、助詞（「～が」「～を」）、会話文に注目して読む読み方を使ったり、人物のしたことや言ったことを想像したりして、あらすじをとらえる学習を行っている。

しかし、挿絵や重要な叙述から読み取ったことをもとに、登場人物の気持ちを想像することについては、個人差があり、課題である。役割演技を通して、登場人物の心情や様子を実感を通して理解し、物語の楽しさをより味わうことができるようにしたい。

(2) 教材観

本教材は、学校の体育の学習、運動場で、という、子どもたちにとって身近な場の設定である。青空にくじらぐもが現れ、子どもたちがくじらぐものところへ行こうとすると、風が見方をしてくれる。子どもたちがくじらぐもに飛び乗るところで、場面が一気に大空へと移る。このように、場面の転換がダイナミックな動きのある作品である。また、本学級の子どもたちと同じ1年生の子どもたちが登場するため、登場人物に同化しながら、くじらぐもと子どもたちが仲良くなっていく様子を想像豊かに読み取る学習を進められる。中心となるくじらぐもの行動の変化を叙述や挿絵をもとに把握した上で、くじらぐもの様子を想像しながら読むことができ、指導事項ウ「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」を指導することができる。

(3) 指導観

まず、これまでの経験から雲についてのイメージを膨らませてから、「くじらぐも」という題名と冒頭文を教師が読み聞かせることで物語に出会わせたい。そして題名「くじらぐも」や冒頭文の「あらわれました」から、「どんな雲かな?」「くじらぐもは何をしに来たのかな?」等の疑問をもたせ、くじらぐもに着目し、したこと・思ったことを問える読み通しのめあてを生み出す。

次に予見をまとめる段階では、全文を読んで、挿絵の並び替えをした後、場面ごとのあらすじ（くじらぐもは何をしたのか）を書きまとめる。さらに、くじらぐもの場面ごとの気持ちを子どもたちに問い、「くじらぐもは、みんなとともだちになりたくて あらわれた。」という予見に方向づける。

さらに、場面ごとに読み確かめる場面では、1時間の授業を「①めあて②場面の音読③挿絵や叙述をもとにくじらぐもとみんなの様子や気持ちを読み取る④くじらぐもや子どもたちの気持ちを考えて吹き出しに書き、動作化をする⑤くじらぐもがしたことの理由を全体でまとめる⑥今日の学習で分かったことを自分の言葉で書く」という活動で展開する。このように読み取り学習の流れをパターン化し、学習の仕方を定着させ、見通しを持って学習できるようにする。

くじらぐもや子どもたちになりきって音読や動作化をしたり、対話や全体での交流をしながら楽しく学習を進めていく上で、子どもたちが主体的に考え、自分の考えをもつことができるようにする。

最後に、場面ごとの読み取りをもとに、読み通しのめあての答えをまとめ、好きな場面を音読することで学習のまとめをする。

3. 単元の目標

- 空に現れたくじらぐもがしたことや、子どもたちと仲良くなっていく様子を、想像を広げながら読み取ることができる。
- 言葉をはずしたり、会話文や繰り返しの言葉、助詞に注目したりして、くじらぐものしたことを中心に挿絵と叙述を対応させる読み方を習得することができる。
- 子どもたちとくじらぐもが仲良くなっていく物語の楽しさを味わうことができる。

4. 指導計画（全11時間）

次	時	主な学習活動・内容	指導上の留意点
一・読み通しのめあて	1	1. 今までどんな雲を見たことがあるのか交流する。 ・ 竜みたいな形の雲 ・ 白い雲 ・ オレンジ色の雲 ・ うろこみtainな雲	※ 雲のイメージを膨らませるために、これまでに見た雲を想起させたり、青空の雲の写真を見せたりする。
		だいめいと ぼうとうから、よみとおしの めあてを つくろう。	
		2. 読み通しのめあてをつくる。 (1) 題名「くじらぐも」について、分かること、思ったことを発表する。 ・ くじらの形をした雲かな。 ・ 大きな雲かな。 ・ くじらが出てくる。	※ どんなお話か想像させ、興味をもたせる。 ※ 物語の設定(いつ・どこで・だれが・何を)や、くじらぐもの様子・したことに線を引くようにし、全体で確認していく。
		(2) 冒頭を音読し、挿絵と叙述からくじらぐもの様子を話し合う。 ・ 大きな、まっしろい くもの くじら ・ 4時間目 ・ 1年2組のこどもたちが体操をしていた	※ くじらぐものイメージを捉え、関心を高められるよう、模造紙2枚に綿で作ったくじらぐもの掲示を出す。
		3. 読み通しのめあてをつくる。 ・ 「来た」とはちがって、急に「現れた」 ・ 偶然じゃない、何かしに来たのかな。	※ 冒頭の「あらわれました」に着目し、ペーパートを動かして「あらわれました」と「きました」を比べるようにする。 ※ くじらぐもにたずねたいことを話し合う。
よみとおしの めあて くじらぐもは、なにをしに あらわれたのか よみとろう。			
		4. 今日の学習で分かったことを書く。	

二 予 見	2	<p>1. 全文を音読し、場面の区切りを確認する。</p> <p>2. 挿絵をあらすじの順に並べ、それぞれの場面でくじらぐもがしたことを話す。</p> <p>3. 新出漢字の練習をする。</p>	<p>※姿勢，句読点，「」に気をつけて音読するよう指導する。</p> <p>※範読・号車読み・場面ごとに班読みなど，変化をつける。</p> <p>※友だちと，挿絵を見ながら物語の大体を話すことで，あらすじをつかませ，自信を持たせる。</p>										
	3	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くじらぐもが どんなことを したのか ばめんごとに まとめよう。</p> <p>1. 挿絵の並び替えをし，めあてを確認する。</p> <p>2. 教師の範読を聞きながら，くじらぐもがしたことに線を引く。</p> <p>3. 線を引いた箇所を発表し，それぞれの場面でくじらぐもがしたことを書きまとめる。</p>	<p>※「～が，～も，～は，」を強調したり，線を引く箇所はゆっくり読んだりして，子どもたちが気づきやすいようにする。</p> <p>※各場面の叙述と挿絵から，くじらぐもがしたことを全体で確かめ，場面のくじらぐもの様子を「くじらは，～。」の形で書かせる。</p> <p>※「～くじら」と挿絵に名前をつけて，場面ごとにくじらぐもがしたことに焦点化できるようにする。</p>										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">① くじらぐもは，子どもたちの まねをした。</td> <td style="padding: 2px;">「まねっこくじらぐも」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">② くじらぐもは，子どもたちを さそった。</td> <td style="padding: 2px;">「おきそいくじらぐも」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">③ くじらぐもは，子どもたちを おうえんした。</td> <td style="padding: 2px;">「おうえんくじらぐも」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">④ くじらぐもは，子どもたちをのせて そらを およいだ。</td> <td style="padding: 2px;">「およぎくじらぐも」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">⑤ くじらぐもは，子どもたちと さようならをした。</td> <td style="padding: 2px;">「さようならくじらぐも」</td> </tr> </table> <p>3. 今日の学習で分かったことを書く。</p>	① くじらぐもは，子どもたちの まねをした。	「まねっこくじらぐも」	② くじらぐもは，子どもたちを さそった。	「おきそいくじらぐも」	③ くじらぐもは，子どもたちを おうえんした。	「おうえんくじらぐも」	④ くじらぐもは，子どもたちをのせて そらを およいだ。	「およぎくじらぐも」	⑤ くじらぐもは，子どもたちと さようならをした。	「さようならくじらぐも」	
	① くじらぐもは，子どもたちの まねをした。	「まねっこくじらぐも」											
② くじらぐもは，子どもたちを さそった。	「おきそいくじらぐも」												
③ くじらぐもは，子どもたちを おうえんした。	「おうえんくじらぐも」												
④ くじらぐもは，子どもたちをのせて そらを およいだ。	「およぎくじらぐも」												
⑤ くじらぐもは，子どもたちと さようならをした。	「さようならくじらぐも」												
4	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">よみとおしのめあての こたえを かんがえよう。</p> <p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>2. 読み通しのめあての答えを考える。</p> <p>(1)全文を音読して挿絵の並び替えをし，あらすじや，くじらぐもがしたことを想起する。</p> <p>(2)場面ごとのくじらぐもの気持ちを考える。</p> <p>(3)くじらぐもが「あらわれた」理由を考え，友達と話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと遊びたくて ・子どもたちと友達になりたいくて ・楽しそうな声が聞こえてきたから <p>3. 読み通しのめあての答えを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>くじらぐもは，みんなと ともだちになりたいくて あらわれたのかな。</p> </div> <p>4. 今日の学習で分かったことを書く。</p>	<p>※場面ごとにくじらぐもがしたことを想起できるように，「～くじらぐもは，」という書き出しで学習プリントに書くようにする。</p> <p>※心の中でどんなことをつぶやきながら子どもたちを誘ったり応援したりしたのか，自分だったらどんな時にまねをするのか問う。</p> <p>※<u>ただまねがしたかったのか，遊びただけなのか，という問いかけや，くじらは一人であらわれたことを強調し，「友達になりたいくてあらわれた。」という方向付けをしていく。</u></p> <p>※多様な考えを認め，本当はどうかのか，本当に友達になりたいくて表れたのか，場面ごとに詳しく読み取っていく必要感をもたせる。</p>											

三. 読み確かめ	5	まねっこくじらぐもの、みんなと ともだちになりたい きもちを よみたしかめよう。	<p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <p>2. くじらぐもの①場面での様子や気持ちを 読み取り、友達になりたい気持ちを読み確 かめる。</p> <p>(1)①場面を音読し、視写する。</p> <p>(2)くじらぐもがしたことに線を引き、線 を引いた叙述を発表する。</p> <p>(3)挿絵と叙述をもとに、くじらぐもや子 どもたちの心情・様子を全体で話し合 う。</p> <p>・みんなが好きで仲良くなりたいから、 体操の真似をした。</p> <p>(4)くじらぐもの気持ちを吹き出しに書 き、話し合う。</p> <p>(5)動作化する。(ペア→発表)</p> <p>3. 読み確かめたことをまとめる。</p> <p>(1)くじらぐもの気持ちをまとめる。</p> <p>(2)今日の学習で分かったことを書く。</p>	<p>※「くじらぐも」の表現の繰り返しに着目す るよう、穴あきの視写プリントを用意する。</p> <p>※くじらぐもがしたことの前に子どもたちが 何をしたのか問い、まねをしたことを捉えら れるようにする。</p> <p>※ふき出しにくじらぐもの立場で気持ちを書 き込み、話し合うことで動作化につなげる。</p> <p>※ハート型の画用紙を貼り、次時から、その 大きさの変化でくじらぐもの「みんなと仲良 くなりたい」気持ちの高まりを表す。</p>
	6	おさそいくじらぐもの、みんなと ともだちになりたい きもちを よみたしかめよう。	<p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <p>2. くじらぐもの②場面での様子や気持ちを 読み取り、友達になりたい気持ちを確かめ る。</p> <p>(1)②場面を音読し、視写する。</p> <p>(2)くじらぐもがしたことに線を引き、線 を引いた叙述を発表する。</p> <p>(3)挿絵と叙述をもとに、くじらぐもや子 どもたちの心情・様子を全体で話し合 う。</p> <p>・くじらぐもはみんなを空へ呼びたかった。 ・みんなはくじらぐもと一緒に体育をしたか った。</p> <p>(4)くじらぐもの気持ちを吹き出しに書 き、話し合う。</p> <p>(5)動作化する。</p> <p>3. 読み確かめたことをまとめる。</p> <p>(1)くじらぐもの気持ちをまとめる。</p> <p>(2)今日の学習で分かったことを書く。</p>	<p>※「よびました」「こたえました」「さそいま した」に着目し、ただの真似でなく返事をし たことを読み取る。</p> <p>※子どもたちや、くじらぐもの言う「ここへ おいでよう。」の「ここ」の違いを考えさせる。</p>

くじらぐもが 子どもたちの まねをして いっしょに
たいそうしたのは、みんなにきづいてほしかったから。

くじらぐもが 子どもたちを 空へ さそったのは、
ちかくにきてほしかったから。

<p>7 本時</p>	<p>おうえんくじらぐもの、みんなと ともだちになりたい きもちを よみたしかめよう。</p> <p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <p>2. くじらぐもの③場面での様子や気持ちを 読み取り、友達になりたい気持ちを確かめ る。</p> <p>(1)③場面を音読する。</p> <p>(2)くじらぐものがしたことに線を引き、線 を引いた叙述を発表する。</p> <p>(3)挿絵と叙述をもとに、くじらぐもや子 どもたちの心情・様子を話し合う。</p> <p>・一緒に空で遊ぶために、みんなが一生懸命 ジャンプしてくれたのが嬉しくて、応援し た。</p> <p>(4)くじらぐもの気持ちを吹き出しに書 き、話し合う。</p> <p>(5)動作化する。</p> <p>3. 読み確かめたことをまとめる。</p> <p>(1)くじらぐもの気持ちをまとめる。</p> <p>(2)今日の学習で分かったことを書く。</p>	<p>※本場面の「くじらが〜」と1場面の「くじ らも〜」を比べさせ、くじらぐもが自ら応援 したことを捉えさせる。</p> <p>※子どもたちが一生懸命高くジャンプしよう と頑張る姿や、それを見て一生懸命応援する くじらぐもの気持ちの高まりを、叙述をつな いで、ハートの大きさで表す。</p> <p>※一回目と二回目の「もっとたかく。もっ とたかく。」の言い方を比べ、音読や動作化でく じらぐもの気持ちの高まりを実感を伴って理 解できるようにする。</p> <p>※何と言いながら応援したのか、「もっとたか かく。もっとたかく。」のつづきを想像させる。</p> <p>くじらぐもが 子どもたちを なんかいも おうえんし たのは、みんながいっしょうけんめい ジャンプするのが うれしかったし、はやく空にきてほしかったから。</p>
<p>8</p>	<p>およぎくじらぐもの、みんなと ともだちになりたいきもちを よみたしかめよう。</p> <p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <p>2. くじらぐもの④場面での様子や気持ちを 読み取り、友だちになりたい気持ちを確か める。</p> <p>(1)④場面を音読する。</p> <p>(2)くじらぐものがしたことに線を引き、線 を引いた叙述を発表する。</p> <p>(3)挿絵と叙述をもとに、くじらぐもや子 どもたちの心情・様子を話し合う。</p> <p>(4)くじらぐもの気持ちを吹き出しに書 き、話し合う。</p> <p>(5)動作化する。</p> <p>3. 読み確かめたことをまとめる。</p> <p>(1)くじらぐもの気持ちをまとめる。</p> <p>(2)今日の学習で分かったことを書く。</p>	<p>※うみ、むら、まちのほうへすすんで泳いだ のはなぜか問いかけ、子どもたちを思う優し さや、くじらぐも自身の嬉しい気持ちを捉え られるようにする。</p> <p>※「さあ、およぐぞ。」「くじらが〜。」を中心 に、空を、自ら元気よく進むくじらぐもの様 子や気持ちを読みとる。</p> <p>※繰り返し表現「あおいあおい」「どこまでも どこまでも」に着目させ、くじらぐもとこど もたちが気持ちよく、楽しく泳いでいる気持 ちを考えさせる。</p> <p>くじらぐもが 子どもたちをのせて空をおよいだのは、い っしょにおよげるのが うれしかったし、みんなにいろいろ なけしきを 見せてあげたかったから。</p>

	9	<p>さようならくじらぐもの きもちを よみたしかめよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 本時のめあてを確かめる。 くじらぐもの⑤場面での様子や気持ちを読み取り、友達になりたい気持ちを確かめる。 <ol style="list-style-type: none"> ⑤場面を音読する。 くじらぐもがしたことと線を引き、線を引いた叙述を発表する。 挿絵と叙述をもとに、くじらぐもや子どもたちの心情・様子を話し合う。 くじらぐもの気持ちを吹き出しに書き、話し合う。 動作化する。 読み確かめたことをまとめる。 <ol style="list-style-type: none"> くじらぐもの気持ちをまとめる。 今日の学習で分かったことを書く。 	<p>※「もうおひるだ。」と聞いて、「では、かえろう。」と言って回れ右をしたくじらぐもの優しさを捉えさせる。</p> <p>※「また、げんきよく、」に着目し、<u>さようならしたのに元気よく帰って行ったのはなぜか</u> 問い、喜びや満足感をもって帰っていくくじらぐもの気持ちや様子を確認する。</p> <p>くじらぐもが みんなと 元気よく さようならしたのは、みんなと いっしょに空をおよいで ともだちに なれたのが うれしかったから。</p>
四. まとめ	10	<p>くじらぐもは なにをなにに あらわれたのか、よみとおしのめあての こたえをかんがえよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 全文を音読する。 くじらぐもがどうしてあらわれたのか考える。 <ol style="list-style-type: none"> グループの友だちと対話する。 自分の考えを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ともだちになりたくて がっこうがすきだから ・一緒に泳ぎたくて 考えを話し合い、まとめる。 <p>くじらぐもは、みんなと友だちになりたくてあらわれて、どんどん その気持ちが大きくなっていった。</p> <ol style="list-style-type: none"> これまでの学習をふり返り、お話のつづきを想像して書く。 	<p>※子どもの考えの共通している部分を出していく。</p> <p>※書けない子どもたちには、くじらぐもは次の日どうしたか、考えさせる。</p>
	11	<p>グループで くふうして「くじらぐも」を おんどくしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 音読の工夫の仕方を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 大小 ・力強さ ・読む人数 音読したい場面によってグループに分かれ、音読の役割を決めたり、練習したりする。 音読を発表する。 友だちの音読のよかったところを書き、発表する。 	<p>※自分が好きだと思う場面、友だちと声を合わせて読みたい場面を選ぶようにする。</p> <p>※「」のところは、くじらぐもや子どもたち、先生になったつもりで読むよう助言する。</p>

5. 本時（7/11 時間）平成 23 年 10 月 17 日（月）第 5 校時

6. 本時の目標

- くじらぐもに飛び乗ろうとする子どもたちを応援するくじらの様子を想像豊かに読み取り、子どもたちと仲良くなりたくじらの気持ちの高まりを読み確かめることができる。
- 会話文や繰り返しの言葉に着目したり、助詞「も」と「が」のつく言葉を比べたりすることができる。

7. 本時指導の考え方

本時は、くものくじらにとびのろうとする子どもたちを応援するくじらぐもの、気持ちの高まりを読み確かめる場面である。手をつないで一生懸命ジャンプする子どもたちの姿を見て、嬉しくて一生懸命に応援するくじらぐもの様子や気持ちを想像豊かに読み取らせたい。

そこで、まず、前時までの学習の振り返りを通して、あらすじや物語のつながりを捉える。

次に、くじらがしたこと・子どもたちがしたことに線を引いて確認する。次に、「くじらが～」、「くじらも～」を比べさせて、自ら子どもたちを応援していることに気付かせる。また、「もっとたかく。もっとたかく。」の繰り返しに着目して言い方を想像させ、音読や動作化を通して、くじらぐもの、仲良くなりたくじらぐもの気持ちの高まりに気付かせる。最後に、ハートの大きさで、くじらぐもの気持ちの高まりを視覚的に捉えさせて次時の学習につなげる。

8. 展開

時間	学習活動と内容	指導上の留意点
3	<p>1. 前時までの学習を振り返り、本時学習のめあてをもつ。</p> <p>よみの めあて</p> <p>おうえんくじらぐもの、 みんなとともだちになりたいきもちを よみたしかめよう。</p>	<p>※1・2場面のくじらぐもの気持ちを振り返り、本時の場面のくじらぐもの「友達になりたい」気持ちを読み確かめるようつなげる。</p>
3	<p>2. 3場面のくじらぐもの様子や気持ちを読み取り、仲良くなりたくじらぐもの気持ちを確かめる。</p> <p>(1) 場面の音読をする。</p> <p>(2) 挿絵や叙述をもとに、くじらぐもやみんなの気持ちを想像する。</p>	<p>※くじらぐもがしたこと、こどもたちがしたことを区別して全体で確認していく。</p> <p>※「くじら^が」くじら^も」を比べさせ、くじらぐもが自ら応援したことを捉える。</p>
3	<p>①くじらぐもがしたことに線を引き、全体で確認する。</p>	<p>※繰り返しの表現に着目し、一回目と二回目の「もっとたかく。もっとたかく。」の言い方を比べ、音読をする。</p>
10	<p>②子どもたちやくじらぐもの様子、気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くじらに届くように一生懸命ジャンプした。 ・手を大きく振って応援している。 ・「もっとたかく。」がどんどん大きくなっている。 ・みんなが一生懸命ジャンプするのが嬉しく 	<p>※「天までとどけ、一、二、三。」は、グループ、教室、運動場に聞こえる声、で違いを考えるようにさせる。</p>

